

概 要

開通1ヶ月後

■ 高速道路（名古屋第二環状自動車道（名二環）・名古屋高速道路）

（P2～P4参照）

【今回開通区間の状況】

- 名二環(名古屋南JCTから高針JCT間)開通1ヶ月後の交通量は、約12,000～21,000台/日でした。
- 名二環新設ICの開通1ヶ月後利用交通量は、約2,000～8,000台/日でした。

【今回の開通による既存道路の状況】

- 名二環の既供用区間の交通量は、開通前(前年)と比べ約4,000～15,000台/日増加しています。
- 名二環と並行する名古屋高速3号大高線の交通量は、開通前(前年)と比べ約6,000～9,000台/日減少しています。
- 今回の開通後、名古屋高速 3号大高線においては、1日あたりの延べ渋滞時間が約9割減少しました。
- また、東名高速道路(名古屋IC～豊田JCT)でも、1日あたりの延べ渋滞時間が約7割減少しました。
(4月においては渋滞が解消)

■ 一般道路（国道302号）

（P5～P7参照）

【今回開通区間の状況】

- 国道302号の開通1ヶ月後の交通量は、約18,000～19,000台/日でした。

【今回の開通による既存道路の状況】

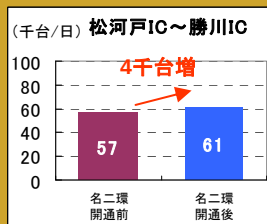
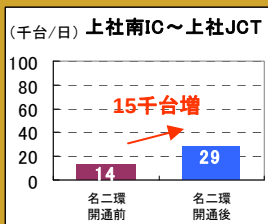
- 国道302号の既に開通していた区間の交通量は、開通前と比べて約6,000台/日増加しています。
- 並行する周辺一般道路の交通量は、開通前と比べ約1,000～6,000台/日減少しています。
- 今回開通区間周辺の一般道路では、開通により新たに渋滞が発生した箇所もありますが、主要道路である(主)名古屋第二環状線や国道153号においては、ピーク時の渋滞長が全体的に減少しました。
- 国道302号の開通により、抜け道として利用されていた生活道路においても、交通量が約4割減少している箇所もありました。

周辺高速道路の交通量

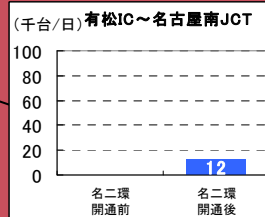
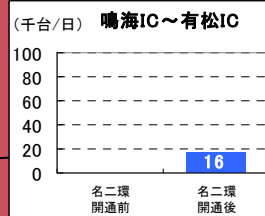
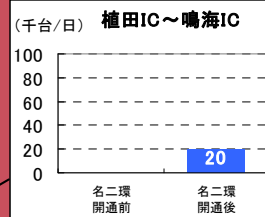
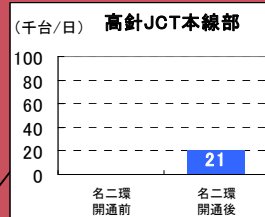
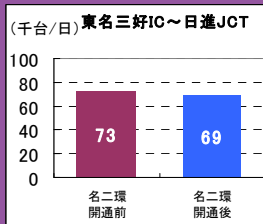
開通1ヶ月後

- 名古屋第二環状自動車道(以下、名二環)の今回開通区間の交通量は、約12～21千台/日となっています。
- 名二環の上社南IC～上社JCT区間では、開通前と比べて約15千台/日増加しています。また、松河戸IC～勝川IC区間は開通前と比べて約4千台/日増加しています。
- 並行する名古屋高速3号大高線では、開通前と比べて約6～9千台/日減少しており、その一部は名二環に転換したものと考えられます。

名古屋第二環状自動車道



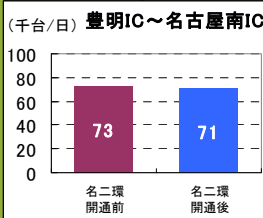
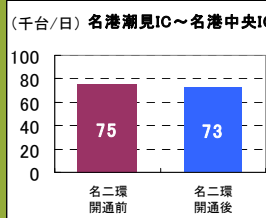
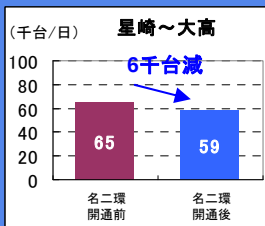
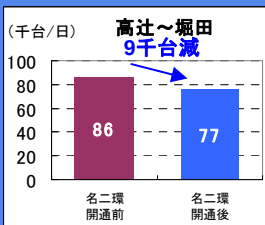
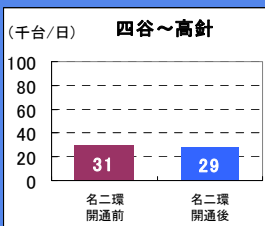
東名高速道路



名古屋第二環状自動車道(今回開通区間)



名古屋高速道路(2号東山線 3号大高線)



伊勢湾岸自動車道

名二環開通前：平成22年3月21日(日)～平成22年4月20日(火)までの平均日交通量
 名二環開通後：平成23年3月21日(月)～平成23年4月20日(水)までの平均日交通量
 ※名二環・東名高速・伊勢湾岸は中日本高速道路データ 調査時間帯(0:00～24:00)
 ※名古屋高速は名古屋高速道路公社データ 調査時間帯(7:00～7:00)

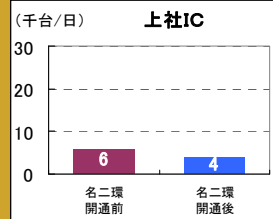
※東日本大震災の影響を受け、全体的に交通需要が落ち込んでいる可能性があるため、今後も引き続きデータの収集を進めます。

周辺高速道路のIC利用交通量

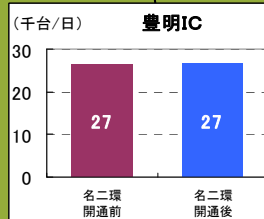
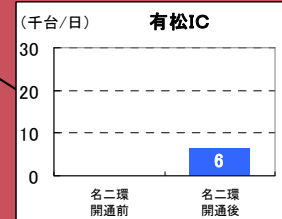
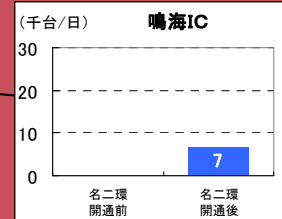
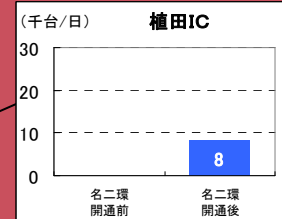
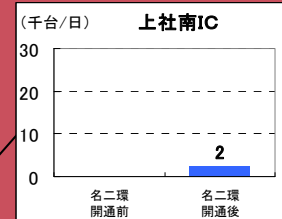
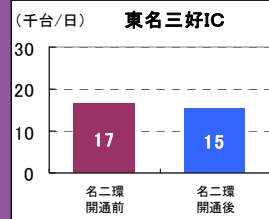
開通1ヶ月後

- 名二環の新設ICの利用交通量は、約2～8千台/日となっています。
- 名二環の今回開通区間周辺の既存道路のICにおいては、開通前と比べて交通量が減少傾向となっており、特に名古屋高速3号大高線の端末出入口では、開通前と比べて約5千台/日減少しています。

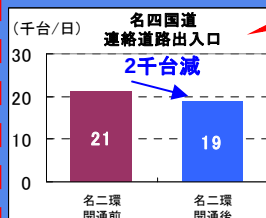
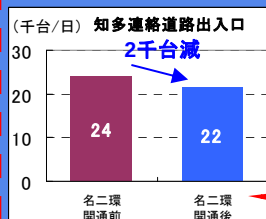
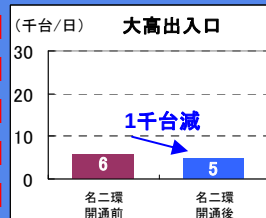
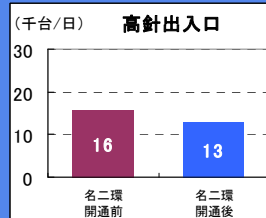
名古屋第二環状自動車道



東名高速道路



伊勢湾岸自動車道



3つの出入口の合計でみると
5千台/日減少

名古屋高速道路(2号東山線 3号大高線)

大高線の端末出入口

名古屋第二環状自動車道(新設IC)

名二環開通前：平成22年3月21日(日)～平成22年4月20日(火)までの平均日交通量
名二環開通後：平成23年3月21日(月)～平成23年4月20日(水)までの平均日交通量
※名二環・東名高速・伊勢湾岸は中日本高速道路データ 調査時間帯(0:00～24:00)
※名古屋高速は名古屋高速道路公社データ 調査時間帯(7:00～7:00)

※上社IC：入口交通量のみ

※新設IC：入口交通量+ETC車の出口交通量

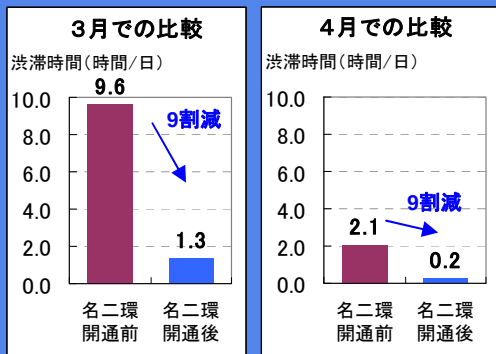
※東日本大震災の影響を受け、全体的に交通需要が落ち込んでいる可能性があるため、今後も引き続きデータの収集を進めます。

周辺高速道路の渋滞状況

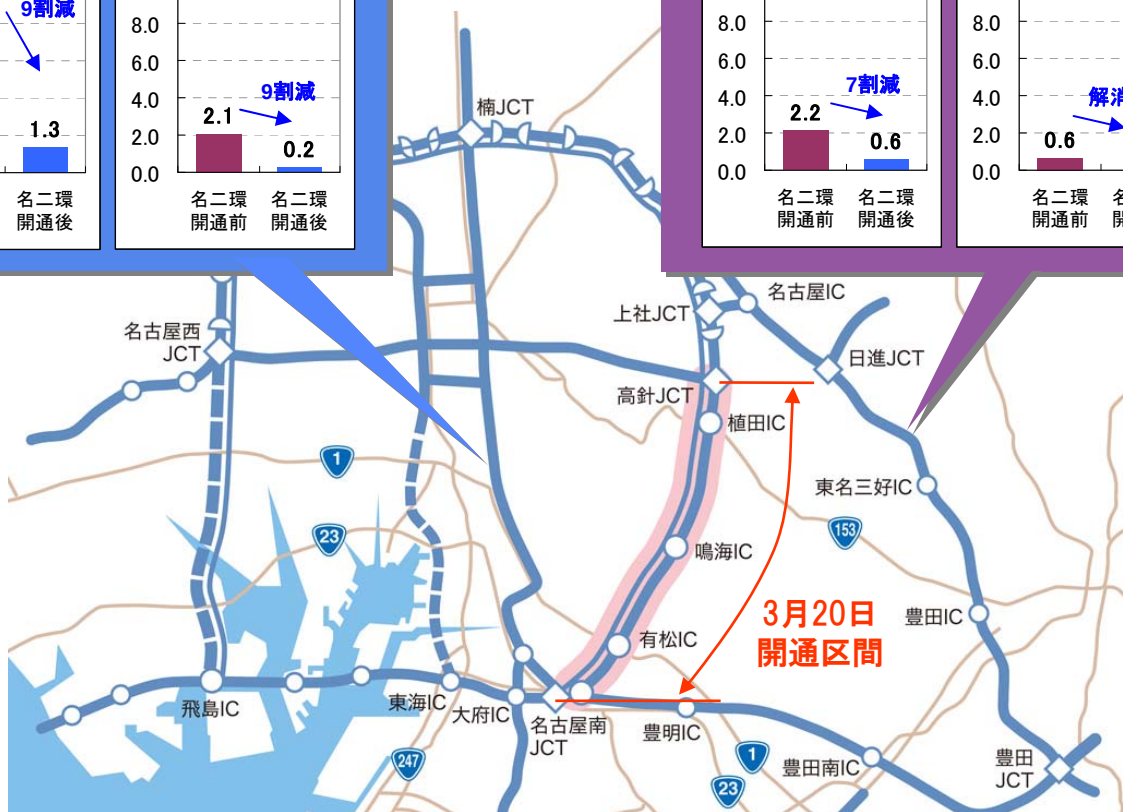
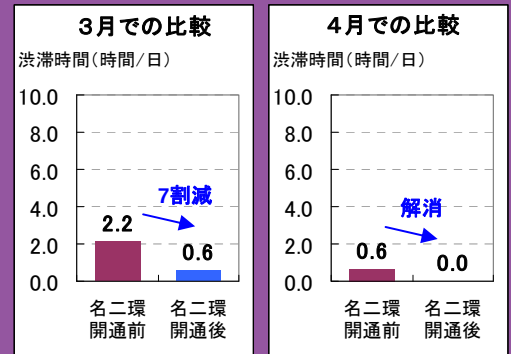
開通1ヶ月後

- 名二環と並行する名古屋高速3号大高線では、開通前と比べて3月、4月の1日あたり延べ渋滞時間が約9割減少しています。
- 東名高速道路(名古屋IC～豊田JCT)では、3月の1日あたり延べ渋滞時間が約7割減少しており、4月は渋滞が解消しています。
- 両路線ともに、名二環の開通により1日あたりの延べ渋滞時間が減少していますが、東日本大震災(H23.3.11)の影響も考えられます。

名古屋高速道路(3号大高線)



東名高速道路(名古屋IC～豊田JCT)



名二環開通前(3月):平成22年3月21日(日)～平成22年3月31日(水)までの平日平均渋滞時間
 名二環開通前(4月):平成22年4月1日(木)～平成22年4月20日(火)までの平日平均渋滞時間
 名二環開通後(3月):平成23年3月21日(月)～平成23年3月31日(木)までの平日平均渋滞時間
 名二環開通後(4月):平成23年4月1日(金)～平成23年4月20日(水)までの平日平均渋滞時間
 ※渋滞時間は上り下り合計の平均値
 ※東名高速は中日本高速道路データ 調査時間帯(0:00～24:00)
 ※名古屋高速は名古屋高速道路公社データ 調査時間帯(7:00～7:00)

■1日あたりの延べ渋滞時間の定義

1日(24時間)の中日本高速道路・名古屋高速道路公社データにおける渋滞時間を合計したもの。
 中日本高速道路・名古屋高速道路データの渋滞時間はそれぞれ以下のように計測されている。

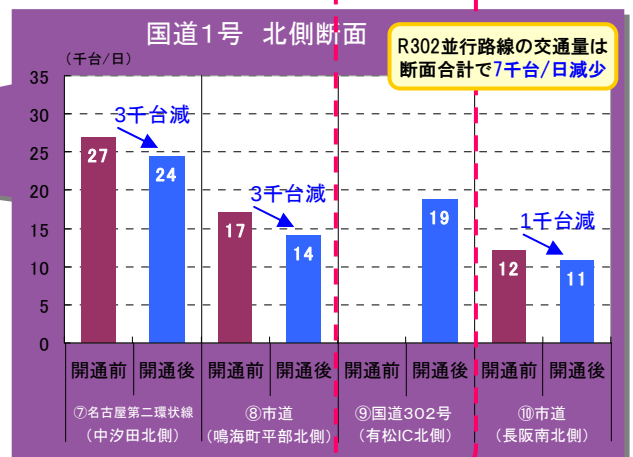
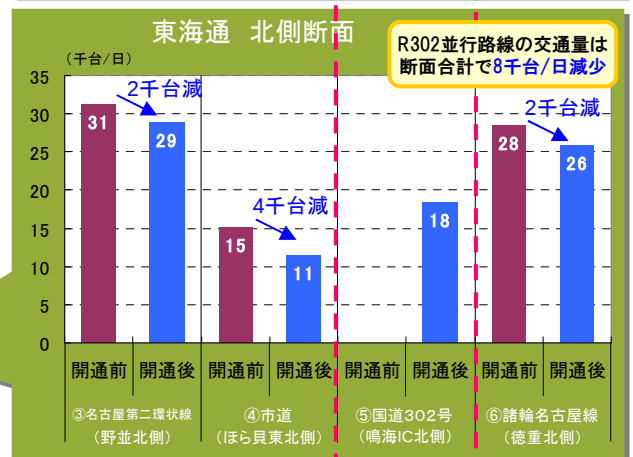
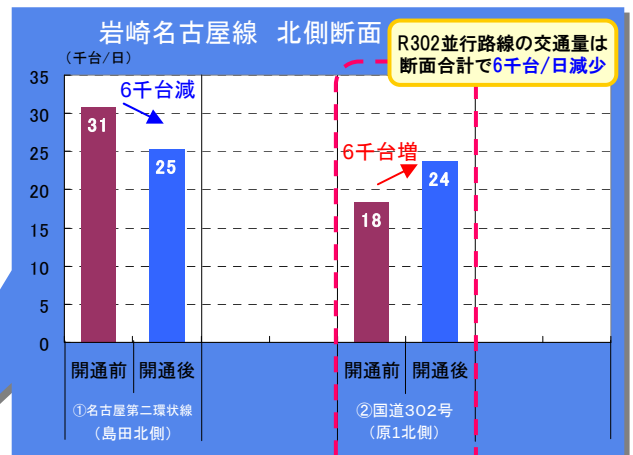
中日本高速道路:時速40km/h以下で1kmの車列の延長が15分以上継続した時間を計測
 名古屋高速道路:時速30km/h以下の車列の延長が、1kmを越えその状態が30分以上継続した時間を計測

※東日本大震災の影響を受け、全体的に交通需要が落ち込んでいる可能性があるため、今後も引き続きデータの収集を進めます。 4

周辺一般道路の交通量

開通1ヶ月後

- 国道302号の新規開通区間の交通量は、約18～19千台/日となっています。
- 国道302号の既に通じていた区間の交通量は、国道302号の新規開通及び4車線化の影響もあり、開通前と比べて**6千台/日増加**しています。
- 国道302号と並行する一般道路については、交通量が開通前と比べて**1～6千台/日減少**しています。(断面合計でみると**6～8千台/日減少**しています。)
- 上記一般道路の交通量の減少の一部は、国道302号に転換したものと考えられます。



◎ : 交通量観測箇所(24h調査)

開通前 平成22年11月30日、12月2日調査

開通後 平成23年4月20日調査

※名二環及び国道302号の開通日は平成23年3月20日

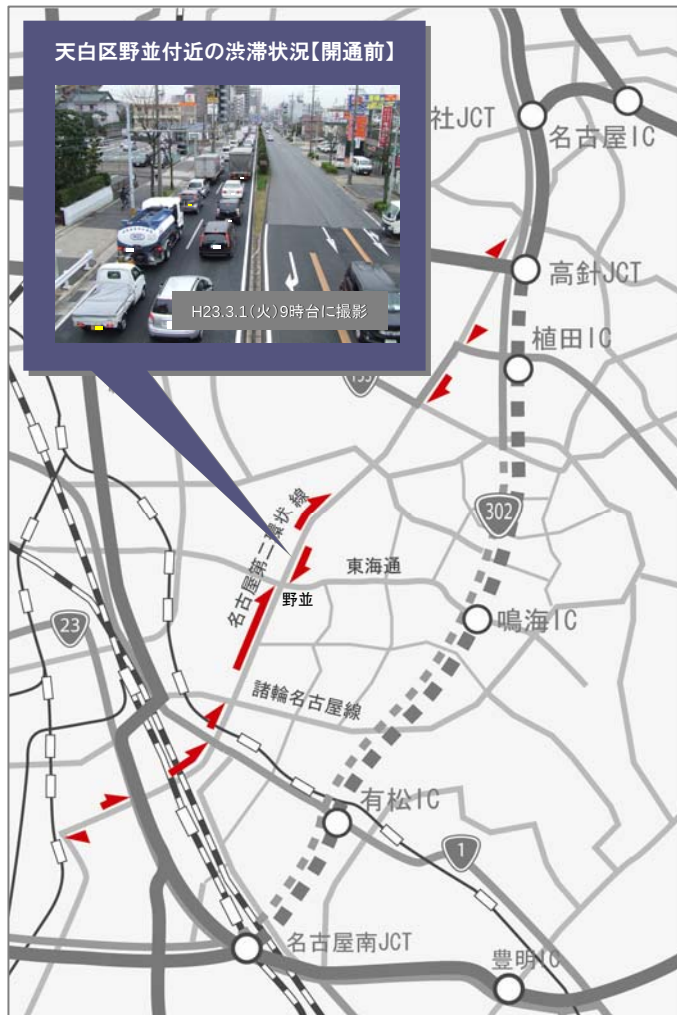
国道302号

周辺一般道路の渋滞状況

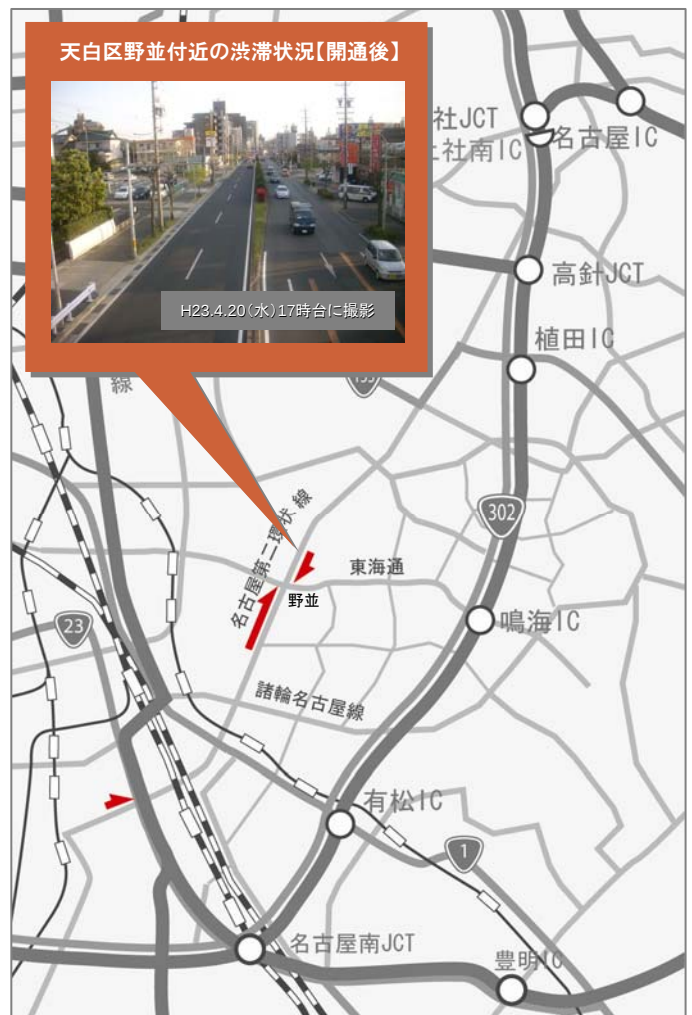
開通1ヶ月後

●名二環及び国道302号の開通により、現状で渋滞している名古屋第二環状線、国道153号においてピーク時の渋滞長が減少しています。

名古屋第二環状線(国道153号) ピーク時(17時台)の渋滞状況【開通前】



名古屋第二環状線(国道153号) ピーク時(17時台)の渋滞状況【開通後】



(財)日本道路交通情報センター(JARTIC)データより
開通前 平成22年3月30日(火)
開通後 平成23年3月30日(水)
※二環及び国道302号の開通日は平成23年3月20日

■ 渋滞の定義

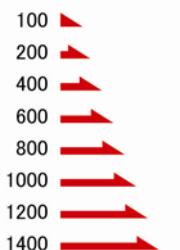
(財)日本道路交通情報センター(JARTIC)データにおける渋滞の定義は、時速20km/h以下。

※渋滞の長さはピーク時(17時台)の平均渋滞長。

※一般道路の渋滞状況は今後も変化すると考えられるため、引き続き調査を行っていきます。

凡 例

渋滞の長さ (m)



生活道路への流入交通の減少

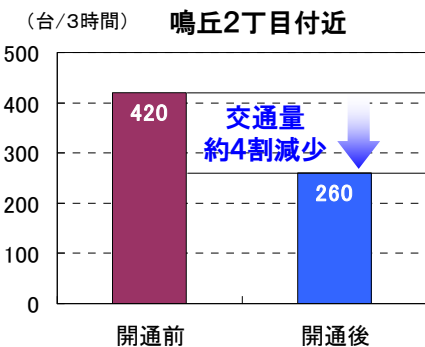
開通1ヶ月後

●国道302号の開通により、抜け道として利用されていた生活道路においても、交通量が約4割減少している箇所もありました。

●『通過する車が少なくなったと実感している』などの地域の皆様のご意見を頂きました。



朝(7:00～10:00)の交通量



開通前 平成22年3月2日(水)調査
開通後 平成23年4月20日(水)調査
※名二環及び国道302号の開通日は平成23年3月20日

地域の声【学校関係者の方の意見】

公園付近(交通量調査地点付近)を通過する車が少なくなったと実感している。地域の方からも「通学路を通り抜けるような車が少なくなった」との意見を頂いている。

道路の開通とともに変化する交通量や安全の確保についても、今後、指導を行っていきたい。国道302号の開通で商業施設付近は交通量が増えると思うので、事故に遭わないか心配している。